

2022年

あつま

社協だより

厚真って広がる



助けあう心

春号

発行者

社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会

〒059-1601 勇払郡厚真町京町158番地 TEL (0145) 26-7501 FAX (0145) 26-7655



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

■令和4年度の主な取組方針■

はじめに

現在、国内で新型コロナウイルスの感染症が確認されてから2年以上が経過しましたが、依然としてその感染力は収まる気配がありません。本年の年明け早々にはオミクロン株による感染拡大が始まり、北海道においても4回目となる「まん延防止等重点措置」が適用されました。社会福祉協議会においては、3回目のワクチン接種を小規模多機能ホーム「ほんごう」の利用者や高齢者生活支援ハウス「ともいき荘」の入居者、高齢者グループホーム「やわらぎ」の入所者、介護保険事業に従事する職員を対象に接種を完了しております。引き続き地域福祉・在宅福祉活動のほか、介護保険事業所を運営しておりますので、感染拡大防止に留意しつつ、安心・安全な事業運営を推進してまいります。

住民主体による協働と参加を目指して

社会福祉協議会では地域福祉を推進とする中核的団体として、「住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉」の実現を目指して活動することを使命としております。

また、従来から取り組んでいる地域福祉活動の推進と介護サービス事業を中核として、より一層住民参加を有機的に図りながら各種の事業を進め、「皆で支え合い、誰もが安心して暮らせる、優しさと思いやりに満ちた福祉のまちづくり」を目指していくことを基本として考えています。

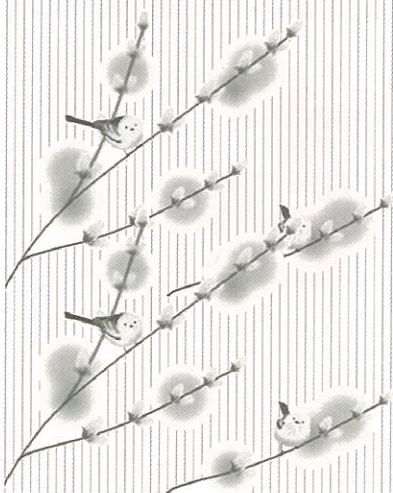
ボランティアセンターの役割として

昨年度はボランティアセンターの適正な運営を実施するため、ボランティア運営委員会を再編しました。このことにより、ボランティアセンターと運営委員会双方の協働による今後のセンター運営に関わる計画等を建設的に進めながら、町内ボランティアの育成や資質の向上を図ることが可能となりました。また、町内で活動するボランティア団体（個人）が地域福祉活動をより展開できるように活動助成金を支給することとしました。このことにより、町民福祉の活動意欲を高めることで住民参加型の地域福祉活動がより期待できます。

今後は、ボランティア活動に関する研修や交流会を定期的を開催するなど、ボランティアの開発、啓蒙に努めてまいります。

今後の展望として

社会福祉協議会は本年、創立70周年を迎える節目の年であります。70年の歳月を経て社会福祉協議会は職員数も年間予算も当時と比較すると飛躍的に伸びております。社会福祉協議会では、わがまちの社協がどのような福祉のまちづくりを目指しているかを地域住民に明らかにするために、第5期地域福祉実践計画（計画期間：令和4年度～8年度の5年間）を策定し、今後、これらの事業・活動などの展開にあたっては、この計画を基本として地域や関係者と地域課題や目標の共有を図りながら次世代につながる福祉豊かなまちづくりを進めてまいります。



令和4年度 事業予算

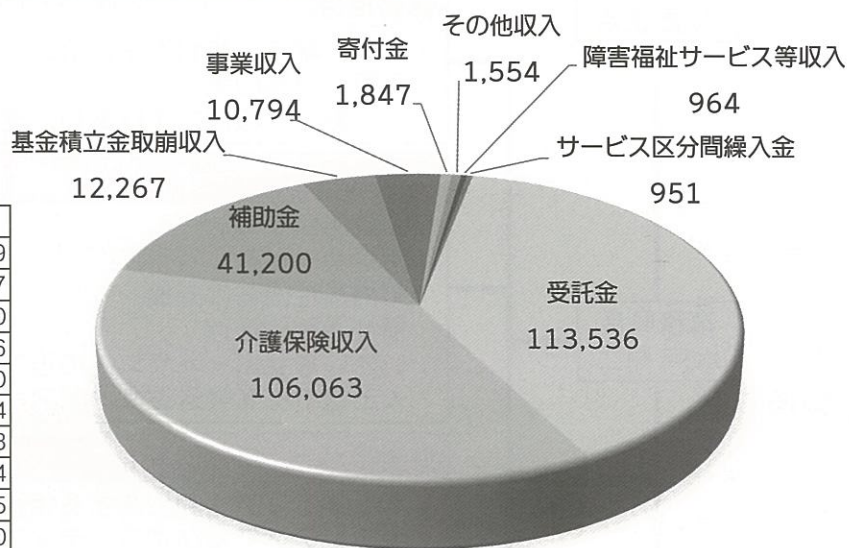
収入の部

(単位：千円)

合計額 289,176千円



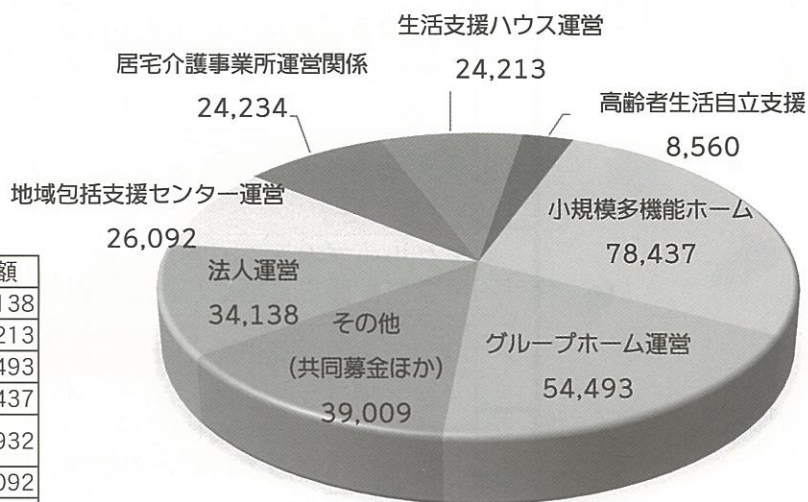
科 目	予算額
会 費 収 入	929
寄 付 金 収 入	1,847
補 助 金 収 入	41,200
受 託 金 収 入	113,536
貸 付 事 業 収 入	600
事 業 収 入	10,794
介 護 保 険 事 業 収 入	106,063
障害福祉サービス等事業収入	964
受 取 利 息 配 当 金 収 入	5
そ の 他 の 収 入	20
積 立 資 産 取 崩 収 入	12,267
サービス区分間繰入金収入	951
収 入 合 計	289,176



支出の部

合計額 289,176千円

科 目	予算額
法 人 運 営 事 業 費	34,138
生活支援ハウス運営事業費	24,213
グループホーム運営事業費	54,493
小規模多機能ホーム事業費	78,437
重層的支援体制整備事業 移行準備事業費	15,932
地域包括支援センター運営事業費	26,092
高齢者共同福祉住宅 生活援助員配置事業費	1,490
生活支援体制整備事業費	7,921
地 域 福 祉 事 業 費	8,602
居 宅 介 護 支 援 事 業 費	9,201
人工透析患者等送迎サービス事業費	4,462
高齢者生活自立支援事業費	8,560
居 宅 訪 問 介 護 事 業 費	15,033
共 同 募 金 分 配 金 事 業 費	602
支 出 合 計	289,176



■厚真町社会福祉協議会 機構図■

(令和4年度4月現在)

評議員会 24名	理事会 13名	監事 2名
-------------	------------	----------

会長
大橋 正治

事務局長
木戸 知二

事業所

総務担当		0145-26-7501
・ 人事、給与、福利厚生、会計、経理	主 幹	山下 直樹
・ 予算、決算の策定	主任	高橋 明子
・ 共同募金、歳末たすけあい、愛情資金事業		
福祉担当		0145-26-7501
・ ふれあいサロン	主 査 / 福祉活動専門員 / 生活支援相談員 / 生活支援コーディネーター	太田 乗盟
・ 給食サービス		
・ 町内福祉団体の支援		
・ 福祉活動の推進		
・ いきいきサポートサロンの運営		
・ 人工透析患者等送迎サービス		
厚真町ボランティアセンター		0145-26-7501
・ ボランティア活動に関する相談、登録、研修	主 査	吉田 文至
・ ボランティア及びボランティア団体の連絡調整	主 査	太田 乗盟
・ ボランティア活動保険の加入促進		
地域福祉実践計画策定室		0145-26-7501
・ 第5期地域福祉実践計画の策定	室 長	山野下 誠
高齢者生活支援センター		センター長 山野下 誠
生活支援ハウス「ともいき荘」		0145-27-3275
・ 「ともいき荘」の管理運営	生活援助員チーフ	安木 綾
・ 入居者の自立支援に関すること		
小規模多機能ホーム「ほんごう」		0145-26-7622
・ 機能訓練、介護サービス、送迎	管理者	安木 綾
・ 「通い」「訪問」「宿泊」サービス		
高齢者グループホーム		施設長 山野下 誠
「やわらぎ」		0145-26-7336
・ グループホームの管理運営	管理者	丸山 圭司
・ 自立支援を目標にした介護計画の支援の提供		
指定訪問介護事業所（ほのぼのケアライフあつま）		
・ ケアプランの作成	管理者 / 主任介護支援専門員	中井 佳子
・ 要介護認定の申請代行		
・ 居宅訪問介護事業者との連絡、調整		
指定訪問介護事業所		
・ ホームヘルプサービス	サービス提供責任者	宮坂 真知子
・ ホームヘルプ活動の推進及び研修		
地域包括支援センター		0145-29-7407
・ 総合相談	管理者	木戸 知二
・ 権利擁護業務	主査 / 社会福祉士	吉田 文至
・ 介護予防支援業務		
・ 包括的、継続的ケアマネジメント支援業務		

掲示板

送迎ボランティア

募集中

- ★ ボランティアにちょっとだけ興味のある方
- ★ 運転が好きな方
- ★ 運転ボランティアと一緒に利用者の見守りをして頂ける方
- ★ 週に1度くらいなら空いた時間に送迎のお手伝いをして頂ける方

**あなたの空いた時間を少しでも
地域貢献してみませんか？**

【活動内容】

地域サロン等参加者の送迎

* 車は当社協の車両を使用して頂きます *

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

厚真町給食 サービス

夕食を週3回～6回の間で、ご自宅までお届けします。専属の管理栄養士が考えた、季節の食材を使ったメニューをご用意。工場で当日に調理したものを冷蔵でご自宅までお届けします。

メニュー

- ・ 松デラックス弁当 ￥650
- ・ 竹バランス弁当 ￥500
- ・ 梅（低カロリー）弁当 ￥450

厚真町に在住する70歳以上の一人暮らし又は70歳以上の高齢世帯で身体的又は精神的な事情により自ら食事の支度を行うことが困難な方で下記に該当する方が対象

- ・ 要支援又は要介護の認定を受けている方
- ・ 厚真町又は居宅介護支援事業所等から給食サービスの必要があると認められた方
- ・ 70歳未満でも上記に該当する方

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

**どこに相談したら
いいのかわからない...**



お仕事や生活上の悩み・不安をお持ちの方々のための総合相談窓口です。

※相談内容の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

■お問い合わせ先

生活就労サポートセンターいぶり

相談者専用番号：0120-09-0783

Mail: iburi-soudan@roukyou.gr.jp

受付時間：月～金 8時30分～17時30分

住 所 室蘭市中央町 3-5-13

SK室蘭中央ビル6F

電 話 0143-83-7355

FAX 0143-83-7123

**新型コロナウイルス感染症の影響による
休業や失業で生活資金でお悩みの皆さまへ**

一時的な資金の貸し付け（特例貸付）

■緊急小口資金

- ・ 貸付金額 10～20万円
- ・ 据置期間 1年以内
- ・ 返済期間 24ヵ月以内



■総合支援資金

- ・ 貸付金額 単身世帯・・・月15万以内
2人以上の世帯・月20万以内
- ・ 貸付期間 原則3ヵ月以内
- ・ 据置期間 最終貸付日から1年以内
- ・ 返済期間 10年以内

※いずれも**保証人不要・無金利**となっています
お問い合わせ先

・ 特例貸付コールセンター

0120-32-1760

・ 厚真町社会福祉協議会

0145-26-7501

○北海道社会福祉協議会のHPからも内容の詳細が確認できます

皆様から信頼されるこれからの社協の責務として

～倫理的責任とは～

令和3年度に発覚した本会職員による会計事務における不祥事につきまして、町民の皆様や本会事業にご協力をいただいている皆様をはじめ、多くの関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことに対し、改めて深くお詫び申し上げます。

不祥事発覚後は、社協全職員が自身の業務を見つめ直しながら、今後このようなことが2度と起こらぬよう、研修会等を開催して参りました。また、再発防止に向けては再発防止対策検討委員会を立ち上げ、この度、答申書が会長に提出されました。

今後につきましては、職員全員が業務の質の向上を目指し、町民の願いや期待に応える社協として取り組んでいく所存でございますので、一層のご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年2月2日

社会福祉法人厚真町社会福祉協議会
会長 大橋正治様

厚真町社会福祉協議会
再発防止対策検討委員会委員長 中村信



職員の会計事務等不祥事に係る再発防止対策についての 答申書

本委員会は、令和3年12月1日に設置され、同日、厚真町社会福祉協議会の元職員が起こした不祥事に係る再発防止対策についての諮問を受けました。

今回の不祥事は、元職員個人に関する問題に起因しますが、不明朗な会計事務や日常生活自立支援事業における基本的な業務記録作成を怠ることなど、これらのことが長年にわたり続けられているにもかかわらず発覚しなかった背景には、担当職員任せや業務上の不正を防止する機能が不十分であったことなど、組織として反省し対処していかなければならない点が多々あります。

本委員会では、本不祥事案に係る再発防止対策にとどまらず、法人職員の資質向上及び業務改善等についても慎重に検証し議論を重ねてきました。この結果を次のとおり答申書としてまとめましたので、ここに提出いたします。

法人におかれましては、本答申書を踏まえ、業務を適切に進めるための対策を着実に遂行し、すべての職員が「社協は地域福祉推進の中核を担っている」という自覚と誇りを持って積極的に活動することで、町民をはじめ関係する皆様からの信頼を取り戻し、より一層の福祉の増進が図られることを期待します。

職員の処分について

今回の不祥事を受けて、指揮監督に適性を欠いたということで、管理監督者である職員の懲戒処分を行ったので処分内容について報告します。

本会職員で当時、事務局長であった職員は減給10%の2カ月間と当時、上司であった職員については、減給10%の1カ月間の懲戒処分を行っております。また、現在の事務局長については戒告処分となっております。

その他、正副会長、監事の役員につきましては、役員報酬を1カ月分それぞれ自主的に返納することにしました。



令和4年3月24日（木）

当会顧問弁護士高田耕平先生をお招きして、研修会を行いました。社協職員として必要な倫理について、様々な視点で学ぶことができました。参加者全員が自身を振り返りながら、今後の業務に活用できるのではと思います。

令和3年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい義援金 集計報告

令和3年度赤い羽根共同募金



※敬称は省略させていただいております。
(単位：円)

寄付者名	募金額
町内33自治会 合計	907,200
(有) 木本建設	10,000
胆振東部消防組合 消防本部	1,026
胆振東部消防組合 消防署厚真支署	2,610
(福) 北海道厚真福祉会	8,123
NPO法人 ゆうあいネットあつま	5,000
とまこまい広域農業協同組合	19,450
厚真職員親睦会	
こども園 つみき	3,405
厚真福寿会	5,000
高砂老人会	3,000
共栄老人クラブ	3,000
上厚真寿楽会	3,000
豊松会	3,000
鹿沼長寿会	3,000
あつまこぶし会	5,000
身体障害者福祉協会 厚真支部	5,000
厚真町婦人団体協議会	5,000
あゆみ会	5,000
厚真町民生委員協議会	10,000
(有) 小川測建コンサルタント	5,000
(株) シン技術コンサル	10,000
(株) タナカコンサルタント	10,000
丸彦渡辺建設(株)	10,000
山本浄化興業(株)	10,000
岩倉建設(株)	10,000
厚真町土地改良区	5,000
厚真建設協会	10,000
苫小牧民報社胆振東部支局	3,000
厚真町シルバー人材センター	5,000
あつまクリニック	10,000
エア・ウォーター北海道(株)	500
苫小牧ブロック厚真サービスセンター	
岩永板金加工店	5,000
まこと商事	5,000
長谷川写真館	1,000
柴田 敬司	1,000
(株) 中川商店	10,000
Gスタジオ大岡	3,000
森田産業(株)	5,000
(株) 北慎電設	30,000
(株) 道央環境センター	10,000
(有) 新星自動車整備工場	3,000
山本ファーム	5,000
(有) 金野技建工業	10,000
(有) 梅原商店	3,000
青木 秀夫	10,000

寄付者名	募金額
清文堂印刷(株) 厚真支店	10,000
江戸っ子	3,000
厚真歯科	30,000
とまこまい広域農業協同組合 本所	10,000
(有) 厚真公益社	3,000
(株) 斗セキ北海道 厚真営業所	5,000
(有) 武山工務店	5,000
北辰工業(株)	20,000
厚真オートサービス(株)	10,000
(株) あつまスタンプ会	5,000
㊦ナガハシ	5,000
(有) 山崎組	5,000
森本工務店	5,000
(有) 瑞穂農場	5,000
(有) 厚真ファーム	5,000
(株) エフティーファーム	5,000
専厚寺	5,000
美彩工房	3,000
(株) 丸博野沢組	10,000
苫小牧広域森林組合 厚真支所	5,000
厚真神社	5,000
道南測量(株)	5,000
佐藤新聞店	5,000
(株) 佐藤組	5,000
さとう理容院	2,000
(有) 手嶋板金工業	5,000
(有) 村井塗装店	10,000
穴田米穀店	5,000
(有) 小川商店	5,000
(有) 中島自動車整備工場	5,000
(有) カネサ斉藤水産	10,000
ノムラ産業(株)	5,000
(有) 岩筋砂工業所	10,000
(有) 藤江産業運輸	5,000
(有) 富士工業	5,000
Set Off Fire Works	3,000
(株) 山岡建設工業	10,000
(有) 希望農場	10,000
日本ホワイトファーム(株)	5,000
(株) 丸斗工業	10,000
正楽寺	10,000
(有) 丹羽林業	10,000
匿名(3件)	15,631
厚真社協事務所 受付分	6,123
その他	12,878
計	1,529,946

ご協力ありがとうございました



令和3年度歳末たすけあい義援金

(単位：円)

寄付者名	募金額
遠藤 秀明	10,000
上厚真清風会	10,000
厚真町役場 課長会	10,000
厚真ライオンズクラブ	30,000
西野 和博	10,000
新日本婦人の会	10,000
厚真町土地改良区	10,000
聖月流日本吟剣詩舞道会 厚真支部	5,000
厚真建設協会	10,000
北海道石油共同備蓄 (株)	50,000
(福) 北海道厚真福祉会	8,858
厚真町民生委員協議会	10,000
苫東石油備蓄 (株)	32,584
(福) 厚真町社会福祉協議会 役員一同	49,360
匿名 (3件)	4,743
計	260,545

屋根の雪下ろし事業に 対応していただいた業者様 ご協力ありがとうございました



社会福祉協議会
では、厚真町からの
委託により今年の大雪に
よる屋根の雪下ろしが困難

な高齢者世帯や障がい者のいる世帯、ひとり親世帯を対象に、「居住する住宅を対象とした雪下ろし」や「状況に応じた敷地内の除排雪」について、申し込みのあった19件の除雪支援を実施致しました。

ご協力くださいました業者様には感謝の言葉とともに、今後のより一層のご活躍を心より願っております。

施工協力業者一覧 (順不同)

(株) 金谷造園様 (株) 曾我造園様
(有) 沼田重機様 吉岡塗装店様
名張板金加工所様
山厚商事様



福祉資金

仲 川 喜代美 様 (埼玉県) 加 藤 愛 子 様 (共 和) 幅 田 弘 美 様 (新 町)
阿 部 孝 幸 様 (本 郷) 特定非営利活動法人 匿名 (2件)
伊 藤 文 彦 様 (美 里) にわとりファミリー 様 (苫小牧) 合 計 485,006円 (12件)
南 正 敏 様 (豊 川) 中 川 信 二 様 (錦 町) (令和3年11月30日
土 居 小夜子 様 (軽 舞) 斉 藤 義 幸 様 (軽 舞) ~令和4年3月14日)

物品預託

高 橋 康 夫 様 (本 郷)・・・タオル
真正寺仏教婦人会 様 (表 町)・・・バスタオル

ご芳名はご本人から了解をいただいた方のみ掲載しています。



真正寺仏教婦人会 様

あたたかい善意に
感謝いたします



今号の一枚

今号の表紙は北海道厚真高等学校ボランティア部の皆さまです。社会福祉協議会では分野を問わず様々な個人・団体・行政機関等との協働において、地域福祉の発展を目指しています。今回、社会福祉協議会で取り組んでいる共同募金事業へのご協力を厚真高等学校様へ依頼したところ、快く賛同していただき、ボランティア部の皆さまに協力していただけることとなりました。写真を見ると絵を掲げている部員さんが確認できるでしょうか？

掲げられている絵は令和4年に制作される予定の、赤い羽根共同募金ご当地ピンバッジのデザインとして描かれたものです。地域貢献の取り組みとして協力していただいた、ボランティア部の皆さまには感謝を申し上げます。募金活動により出来上がったバッジを広く町民の皆様に進呈できればと、心より願っております。ありがとうございました！